

姫治地区まちづくり懇談会での主な意見と回答

日 時 平成30年1月13日（土）午後1時～午後2時30分

場 所 姫治公民館

出席者 37人

- 市長による講演「住みごこち一番・可児“安心”なまちから“元気”なまちへそして“楽しい”まちへ」の後、質疑応答が行われました。

【質問】様々な課題がある中、着実に施策を進め、成果を挙げられていると思っています。中長期的に見て、進んでいないと思われるものや、市民の協力や理解がほしいと思われるところはありませんか。

【回答】市民の皆さんが積極的に様々な分野で活動され、行政がやるところについてもボランティアでやっていただくなど、随分助かっています。

一方で、地域づくりにあまり興味を持たない人たちが増えているのも事実です。地域の様々な活動に参加しない人たちが増えていたり、老人クラブなどの会員が減っていたり、なぜPTAに加入するのかという手紙が来ることがあります。原因はいろいろあると思いますが、自分が高齢になったときや、自分の子どものために、地域に協力することがいかに大切かを、行政がもっとPRしていかななくてはいけないと思います。どうして自治会へ加入するのかといったことに関しても、行政からも伝えていかないといけません。そのようなことを若干心配しています。

行政として課題はたくさんありますが、高齢で自分だけで暮らせない人たちや独居が増えています。みんなでカバーしながら、地域で安心して暮らし続ける仕組みづくりは大きな課題です。